

小5

国語

読解

なまえ

読解 はしの文化

がつ にち

次の文章を読んで、問いに答えましょう。

①はしが日本に伝わったころ、ふだんの食事はどうしていましたか。
アはしで食べていた イ手で食べていた ウスプーンで食べていた

9

② 日本のはしの先が細くなっている理由を、十字でぬき出しましょう。(10字)

[illegible]

③ 日本のはしの、ほかの国にはない特ちょうはどれですか。

1

ア 金属でできている イ 一人一人が自分専用のはしを持つ ウ 長さが決まっている

④ 筆者は、道具はどのようにして形を変えていくと述べていますか。

[illegible]

日本では、食事のときに、はしを使う。ところが、世界を見わたすと、はしを使う地域ちいきは、アジアの一部に限られている。多くの国では、スプーンやフォークを使うか、手で食べる。

はしが日本に伝わったのは、今から千四百年ほど前だといわれる。初めは、神様に食べ物をささげるときにだけ使われ、ふだんの食事は手で食べていた。はしが広まったのは、米や野菜を細かく切って調理する日本の食文化と、相性がよかったからだと考えられている。

日本のはしには、ほかの国にはない特ちょうがある。一人一人が自分専用のはしを持ち、家族でも共用しないことだ。また、先が細くなっているのは、魚の小骨を取りやすくするためである。

道具は、その土地の食べ物や考え方に合わせて形を変えていく。はしの歴史を知ること、日本の食文化を知ることでもあるのだ。

